

3 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

関西電力グループは、地域や生活に密着した事業者として、地域社会の発展なくしては、自らの発展はありえないという認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを通じて、地域社会の発展へ積極的に貢献します。

2007年度の主な取り組み

企業として個人として 世界陸上2007大阪大会を支援	»P.57
さまざまな思いを形にする社会貢献活動	»P.59
地域の活性化に向けた取り組み	»P.61

TOPICS Interview

企業として個人として世界陸上2007大阪大会を支援

2007年8月25日、「第11回IAAF世界陸上2007大阪大会」が開幕しました。数多くの関係者がさまざまな活動に取り組むなかで、当社も地元企業の一員として大会の成功を願い、それぞれの立場でこの国際大会を支えました。



東住吉営業所
ネットワーク技術センター所長
富永 孝一

東住吉営業所
ネットワーク技術センター 保全係
西岡 進



当社は、大会組織委員会からの要請を受け、本店・関係各支店が連携して「世界陸上2007大阪大会に係る協力本部」を設置しました。メイン会場となる長居陸上競技場を供給エリアにもつ大阪南支店では、競技中の停電防止対策などを、また大阪北支店では、供給エリア内のホテルや選手村を中心に電力の安定供給に取り組みました。ここでは長居陸上競技場を供給エリアにもつ大阪南支店・東住吉営業所の取り組みをご紹介します。

万々に備えて供給設備の保安対策を実施

——東住吉営業所では、長居陸上競技場および競技場周辺の、電力の安定供給に取り組んだとのことですが、要請を受けてどのように思われましたか。

富永 開催期間が8月下旬から9月上旬だと聞き、正直言って「時期が悪いな」と思いました。夏の消費電力の伸びが予測できないため、電力を安定して供給する上で油断ができない時期ですから。さらに、競技場の照明に影響を与える雷が発生しやすく不安でした。

—— どのような対策を立てましたか？

富永 事前にさまざまなトラブルを想定し、非常事態が発生したときに備えて、速やかに仮設配電線に切り替えられるよう、競技場の保安担当者と対応手順の確認をするなど万全を尽くしました。加えて、この電源が必要になったときは、

一分一秒でも早く切り替えられるよう、9日間で、のべ43名の技術系社員が、交替で会場に待機していました。

—— 1/100秒を競う競技もありますから、わずかな停電でも大きな影響を与えかねないですよね。

富永 そのとおりです。期間中はまめに天気予報をチェックしましたし、休日でもマラソンの応援がたら事務所に顔を出すくらい、緊張感を持って臨みました。世界中の人たちが注目する一大イベントですから、競技場内だけでなく、競技の様子を世界中に発信するメディアセンター用の電源にも気を配りました。真夏の炎天下ではありませんでしたが、毎日の巡視を欠かすことなく、事故の未然防止に努めました。

競技場周辺の設備も入念にチェック

—— 競技場だけでなく、周辺の停電対策も実施したとか。

西岡 はい。開催の2カ月前から、競技場近辺の巡回を始めました。停電事故を防ぐには、当社設備だけでなく、近隣のお客さまの電気設備に異常がないかも、確認する必要があります。また、マラソン競技の開催日直前にはコースを自転車で回り、当社設備に不具合がないかを再度、確かめました。

—— 大会に向けての巡回・点検は大変だったのではないですか。

西岡 そうですね。国際大会を陰で支える名誉ある仕事とはいえ、一般のお客さまや企業のお客さまに電気を安定してお届けするという通常の業務をおろそかにはできませんから。通常の業務とのバランスを取りながら、限られた人員でいかに保安体制を整えていくか、人の配置に苦労しました。

—— 多くのことを学び、感じた国際大会になったのではないですか？

富永 電力供給という本業を通じて陰ながら世界陸上大阪大会に貢献できたことは、当社にとって貴重な経験となりましたし、何より関係各所との連携強化によって、職場に一体感が生まれました。今後もこの体験を忘れず、電力のより安定した供給に取り組み、地域社会のお役に立ちたいと思います。



長居陸上競技場内の監視室
当社の取り組みに対し、大会組織委員会からは感謝状をいただきました

従業員がボランティアで参加

安定供給に努める従業員だけでなく、「地元大阪で開催される大会を盛り上げたい」という思いのもと、多数の従業員がボランティアスタッフとして大会に参加しました。

■東海支社 計画グループ 山盛 智光

各国メディア向けのIT機器のサポート業務に携わりました。ボランティア活動は初めてでしたが、機器トラブルを解消して、メディアの方に感謝されたときは達成感を感じました。大阪での大会を盛り上げることに微力ながら貢献でき、誇りに思います。



■能力開発センター 計画課 中西 瑞穂

練習場での通訳業務・雑務を担当しました。あるとき、予選前の練習中に南アフリカの選手がケガをされ、チームドクターと病院まで付き添うことに。後日、彼女から「お礼がしたくて探していたのよ!」と言われたときは、ボランティアをやったよかったと感動しました。



■和歌山支店

お客さま室 NW技術グループ 谷澤 弘一

開会式運営スタッフとして選手誘導に当たりました。ベネズエラが開会式に欠席したため、急遽、旗手の代理を務めることに。後日、上司から開会式を録画したDVDをプレゼントされ、その心遣いと職場の理解の深さに改めて触れることができ、本当に良い経験ができました。



■大阪北支店

支店長室 用地グループ 岡本 貴司

運行管理業務として、関係者をバスへ誘導する担当でしたが実際は、交通機関のご案内や道頓堀観光など、活動は多岐にわたり、たくさんの方とコミュニケーションを取らせていただきました。他のボランティアの方も素晴らしい方ばかりで、私自身いい刺激になりました。



さまざまな思いを形にする社会貢献活動

当社は地域や生活に密着する事業者として、従業員一人ひとりが地域社会のお役に立ちたいというさまざまな思いを持っています。そのような思いを形にするため、各事業所では地域と連携した地道な活動が展開されています。

地域社会のお役に立ちたい

それぞれの地域の期待に応える取組み

地域の方々への日ごろの感謝の気持ちを込め、各事業所では、さまざまなイベントを主催したり、地域のイベントへ積極的に参加するなど、地域の方々との交流を深める活動をしています。



社会福祉施設が主催するクリスマスパーティーに参加
(阪神営業所)



京都祇園祭に使用する配線の点検調査を実施
(京都営業所)



伝統文化体験を通じて地域の方との交流を図る「五箇山カンジキカントリー大会」
(北陸支社)



発電所構内を開放しミニイベントとほたる鑑賞「ほたるの夕べ」を開催
(姫路第一発電所)



運営ボランティアだけでなくランナーとしても参加し、大会を盛り上げる「美浜・五木ひろしまラソン」
(美浜発電所)

地域と連携した環境美化活動を実施

各事業所では、周辺地域の環境美化のため、地域と連携した清掃活動を実施しています。事業所周辺のクリーンアップをはじめ、自治体や自治会など地域の諸団体と連携しながら、観光地や海岸、河川や社会福祉施設などを対象に幅広く清掃活動をおこなっています。



「外灯点灯運動」の一環で地域の街灯清掃・点検を実施
(滋賀営業所)



高野山の参詣道を整備(橋本営業所)

一人暮らしのお年寄り宅の電気設備診断を実施

地元の福祉関係機関や消防署などと連携し、一人暮らしのお年寄り宅の電気設備を診断しています。電気を安定してお客さまに提供するだけでなく、お客さまに当社の電気を安心してお使いいただくために、漏電していないか、電気配線に異常がないかを調査し、電気の安全な使い方について、お客さまの立場に立ったコンサルティングをおこなっています。



漏電していないかどうかを確認(三国営業所)

学生のスポーツにける情熱を支援したい

学生アメリカンフットボールへの協賛

当社は、関西で盛んな学生スポーツのひとつであるアメリカンフットボールを1988年から応援しています。毎年春と秋のリーグ戦を「KANDEN FLASHBOWL SERIES」として、関西学生アメリカンフットボールの振興に努めるとともに、レベルの向上に協力しています。



「KANDEN FLASHBOWL SERIES」

障がい者の芸術活動を応援したい

かんでんコラボ・アート21の実施

障がいをお持ちの方々が思いを込めて創ったすばらしい作品を、より多くの方に見ていただこうと、障がい者アート公募展「かんでんコラボ・アート21」を開催しています。障がい者アートに詳しい「(財)たんぼぼの家」の協力を得て、毎年、関西一円で作品を公募。7回目となる2007年度は700点を超す応募がありました。入選作品は、内閣府が定める「障害者週間」に合わせて開く大阪での公開展示会を皮切りに、関西各地と福井の計7カ所で開催する巡回展示会で多くの方にご覧いただいています。

2007年度 最優秀賞受賞 なにわ工房

なにわ工房は、こころに病をお持ちの方が働く場です。1999年からは月1回の絵画教室を開いておられ、毎年、コラボ・アートの募集が近づくと、共同で大きな作品に挑まれます。あらかじめテーマを決めて取りかかるのではなく、自由な発想で作品をつくり上げ、その後、メンバーの意見を聞きながらタイトルをつけます。今回最優秀賞を受賞した「街のあかり」も、そのような流れを経て完成しました。



「街のあかり」

「コラボ・アートには、『みんなで作品をつくる』という楽しみを目的に参加していましたので、受賞の一報が届いたときは驚きで一杯でした。でも、私たちの作品を多くの方に見ていただける貴重な機会ですので、来年度も参加させていただきたいと思っております」とは、大内美雪施設長のお話です。



音楽を通じて感動の機会を提供したい

クラシックコンサートの開催

関西地域の文化振興活動のひとつとして、1988年から「かんでんクラシックスペシャル」と題し、クラシックコンサートを開催しています。2007年度はブッチーニの歌劇「トスカ」を上演し、2日間で約4,200名のお客さまにオペラをお楽しみいただきました。このほか、各支店などでもクラシックコンサートを開催しています。



かんでんクラシックスペシャル

従業員の社会貢献意欲を支えたい

ボランティア活動支援制度の充実

従業員のボランティア活動を通じた自発的な社会貢献を応援しています。「ボランティア休暇」や「マッチング・ギフト制度」などを設け、これらを運用するとともに、ボランティア活動についての情報を社内報などで提供しています。

■ボランティア活動支援制度

マッチング・ギフト
認定実績(2007年度) 7件 46万円

従業員が個人として、あるいは職場内での募金活動を通じて、一定の要件を満たす公的団体をサポートする場合、会社からも定められた限度内でその活動を支援する制度。

ボランティア休暇
取得実績(2007年度) 114件 254日

従業員が休暇を取得して、一定の条件を満たす社会奉仕活動をおこなった場合、年間限度数の範囲内でその1/2ないし全部を特別休暇として認める制度。

ボランティア休職
認定実績 1992～2007年度で15名が取得

勤続5年以上の従業員が、公的福祉機関で社会奉仕活動を長期にわたり継続しておこなう場合に、原則として1年以内の休職を認める制度。ただし、青年海外協力隊としての休職期間は2年6ヵ月。

VOICE

ボランティア休職制度を利用して青年海外協力隊で活躍中

神戸営業所
明石お客さまセンター
藤井 達夫

コロンビア共和国カルダス県
文化庁 県スポーツ局へ派遣
(2008.3～2010.3)



私は現在バスケットボールの指導員としてコロンビア共和国へ派遣されており、青少年チームの指導や指導員の育成を任されています。日本での指導経験はあるものの、文化の違いを考慮して、臨機応変に指導プログラムを組み立てていく必要があります。ですが、「スポーツを通じて楽しみを見つけてほしい」、「思いやりの心を養ってほしい」という子どもたちへの思いは同じです。

自身の経験を、コロンビアの人々に還元できるよう、日々努力していきたいと思っております。

地域の活性化に向けた取り組み

当社は地域に根ざした企業として、地域の発展、産業の活性化に寄与し、今後も地域とともに歩んでまいります。

地域活性化のための企業誘致活動 国内外の企業を関西へ

当社は、地域とともに歩む企業として地域活性化のお役に立ちたいとの思いから、2000年より地元自治体や経済界と連携を図りながら、企業誘致活動に取り組んでいます。具体的には、関西を特定して進出を検討されている企業には、自治体の優遇制度や産業団地の情報などをご紹介し、また、国内での設備投資をお考えの企業には、関西に目を向けていただくため、アクセスの利便性をはじめ多様な関西の魅力の説明するなど、PR活動を積極的に展開しています。

魅力ある関西の情報発信

関西の産業団地に関する情報や自治体の優遇制度をコンパクトにまとめたパンフレット『関西企業立地ガイド』を制作・配布するほか、当社ウェブサイト「KANSAI企業立地ガイド」でも日本語と英語で詳しい情報を発信しています。

また、産学連携のほか、自治体の産業振興施策や最新の優遇制度の情報、用地情報などを掲載した情報誌「Community information」を隔月発行しています。

さらに、当社の本店3階には自治体のパンフレットを集めた「企業立地ライブラリー」を開設し、関西進出の際の情報収集などに気軽にご利用いただいています。



Web 「KANSAI企業立地ガイド」
日本語版 <http://www.kepco.co.jp/i-park/>
英語版 <http://www.kepco.co.jp/english/i-park/index.html>

大阪湾岸が薄型パネルの世界的集積地に

尼崎市では、2005年、松下プラズマディスプレイ(株)が当社尼崎第三発電所跡地にプラズマディスプレイ(PDP)の工場を開設後、2007年には同社尼崎第二工場が操業を開始しました。また、現在は隣接地で尼崎第三工場の建設が進められています。

一方、堺市では、2007年7月にシャープ(株)が世界最大規模の液晶パネル工場の立地を決め、2009年度中の操業をめざして新工場を建設中です。

そのほか、姫路市では2008年2月に(株)IPSアルファテクノロジーが液晶パネル工場の建設を決定しました。

このように大阪湾岸は、薄型パネルの一大生産地として発展をはじめており、今後はさらなる企業の集積が期待されています。



尼崎市の当社発電所跡地に広がる松下プラズマディスプレイ(株)の新工場



シャープ「21世紀型コンビナート」完成予想図

企業の発展的な集積をめざして

今後も当社は、地域の活性化に向け、関西電力グループとしてのノウハウを十分に活用し、デジタル家電のメーカーなど新規の設備投資が期待できる企業を対象として、そのニーズを踏まえた「ソリューション型誘致活動」を推進します。

臨海部の活力の波及と関連機関との連携で、堺市の産業基盤を形成

堺には、臨海部における重化学工業などの素材産業やエネルギー産業の集積に加え、内陸部には中世の鉄砲鍛冶に由来する自転車や刃物、機械、金属加工などの中小企業が多数集積しています。

本市では、次世代産業の立地と地域のさらなる活性化を図るため、国内最大級の優遇措置となる企業立地促進条例を制定し、積極的に企業誘致活動に取り組んでいます。

そして現在、堺浜にシャープ(株)の世界規模の液晶パネル工場の新規立地が実現し、太陽電池パネルや関連産業の工場とともに建設が進んでいます。

今後、臨海部の活力を市域全体に波及させ、関西電力や大阪府など関連機関との連携を強めながら、地域の発展を支える産業基盤の形成に努めてまいります。



堺市 産業振興局産業政策部 企業誘致担当課長 金本 貴幸 氏

取り組みへの評価

- 従業員の地域共生・社会貢献に対する意識
全従業員を対象に年1回「地域共生・社会貢献」に関する意識調査を実施しています。

<2007年度結果>

1. 従業員の「地域共生」の考え方・目的の理解
「理解している」…74.4%
2. ボランティア活動への参加意欲
「参加したい」…74.4%

以上、地域共生活動への理解度、ボランティア活動への参加意欲は高い数値を示しています。

今後とも従業員に対してさまざまな情報発信をおこなうとともに、意識啓発活動を実施してまいります。

お客さまからの評価・主なご意見

■ 当社の社会貢献活動に対するイメージ

[お客さまへのアンケート結果から]

「社会に貢献している」…74.9%

■ 広聴システム「ダンボの声」

(お客さまや地域の声を従業員が収集し、社内で共有するシステム)

[代表的なご意見から]

- 企業としての協賛だけでなく、従業員ボランティアも毎年地域イベントに参加してくれる。感謝すると同時に、企業の社会貢献に対する意識の高さを感じる。

- 以前と比べ地域住民が参加できるイベントが少なくなった。地域住民との交流の場をもっと設けるべきである。

地域のみなさまのご意見・ご要望を受け止め、より多くのみなさまにご参加いただけるよう、取り組んでまいります。

専門家の方のご意見



国際NPO・NGO学会前会長
国立民族学博物館 教授
出口 正之 氏

2007年度は、これまでの従業員ボランティア活動が結実した年でもありました。世界陸上の大阪大会が夏の電力供給のピークを迎える8月下旬から9月上旬に開催される際に、多くの従業員がボランティアとして参加しています。こうしたことは、平素から従業員ボランティアに対する確固たる信念が全社的にない限り不可能なことです。なかでもベネズエラ代表の旗手役を、従業員ボランティアが代役として務めたというエピソードは、地域の奇貨とすべきことでしょう。

かんでんコラボ・アート21やかんでんクラシックススペシャル「オペラへの誘い」は、単に一企業の社会貢献としてだけではなく、日本の企業フィランソロピーやメセナの歴史にとっても意義あるものです。株主やユーザーの理解を得つつこのような活動を展開することこそが「企業の責任」を超える「企業の社会的責任」の真の意味だからです。また、コラボ・アートに昨年を大きく超える700点以上の応募があったことにもその着実な進展を感じます。2008年度は寄付金税制が歴史的な転換期を迎えることが予定されています。マッチング・ギフトなど日本にはまだ馴染みのない国際レベルの制度も今後充実していくことに期待しています。

2008年度以降の方針



関西電力株式会社 執行役員 地域共生・広報室長 川邊 辰也

当社は、地域や生活に密着した事業者ですから、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを通じて、地域社会の発展に貢献したいと考えています。工場誘致やまちづくりなどのプロジェクトへの参加、地域の方々が実施する行事への協力など、それぞれの事情や特性に応じた地域社会への貢献、活性化のための取り組みを、今後とも、みなさまと連携し進めてまいります。

また、障がい者福祉、地域の文化支援などの社会貢献活動においては、会社として取り組む活動を継続するとともに、従業員一人ひとりの社会貢献意識を高める努力を地道に続けることも重要です。ボランティア活動の情報共有や、募集情報など地域コミュニティの一員としての気づきを与えられるような情報を、ポータルサイトや社内報などを活用して発信していきたいと考えています。